

2025年度(令和7年度) 新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	64.6	25.0	4.2	6.3
女子	60.6	21.2	15.2	3.0

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	66.7	31.3	2.1	0.0
女子	63.6	27.3	6.1	3.0

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	50.0	33.3	12.5	4.2
女子	36.4	48.5	12.1	3.0

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	13.65	16.40	33.45	36.83	41.38	9.82	146.89	23.58	49.07	女子	13.12	17.06	38.06	35.94	39.30	9.69	148.42	15.24	53.63

県平均値かつ全国平均値未滿

重点課題および要因

情意面

・多くの児童が運動や体育の授業を好きと感じているが、約15%の児童は運動をしない週がある。
・女子の記録は半分以上の種目で平均値以上であるが、運動が嫌いな児童が2割程度いる。

体力面

・平均値未滿の種目が多く、握力・上体起こし・反復横跳びは男女ともに平均値を下回った。腕や腹の筋力が弱いため、数値も低くなつたと考えられる。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

・種目ごとの体力を高める運動の例を、教職員で動画を撮影し、体育の授業で児童に見せたり、授業の初めの準備運動に取り入れたりする。
・体を動かすこと以外にも、作戦や動き方を考えたりする場面を作り、スポーツの楽しさを多面的に感じられるようにする。

体育の授業以外で行う取組内容

・ハンドグリップなどの握力を高める器具や握力計を各階に置き、使い方を提示し、自主的に児童が練習できる環境をつくることで、体力を高める運動を習慣化させる。
・毎日の家庭学習の中に、体力を高める運動を取り入れ、習慣化させる。

2026年度(R8年度)の
重点目標値

・握力 男子:16kg 女子:15kg
・反復横跳び 男子:40回 女子:39回